

恵まれた越生町の自然環境を守るために

河川の水質調査結果について

町では令和4年度に河川の水質調査を2回実施しました。主な採水場所と、その結果（年平均値）は表のとおりです。

越辺川は、環境省が定める河川環境基準AA～E類型（AA=きれい・E=汚い）のうち、A類型に指定されており、水質汚濁に係る環境基準では、大腸菌群数以外の項目で適合しております。

大腸菌群数については、A類型に指定されている県内の河川33地点のうち、全地点の年平均値が環境基準を超過している状況であり、越辺川の水質が特に悪いことではないと判断できます。

今後も、更なる水質環境の保全向上を目指し、公共下水道への加入促進と合併処理浄化槽の普及率、維持管理の周知徹底を図っていきます。みなさまのご家庭でも適正な污水处理にご協力くださるようお願いいたします。

項目	A類型 環境基準値	越辺川 (黒山 下戸橋)	越辺川 (比丘尼橋)	越辺川 (春日橋)	越辺川 (越生大橋)
水素イオン濃度	6.5以上8.5以下	8.0	8.0	8.2	8.2
溶存酸素量	7.5mg/l以上	11.7	11.7	12.1	11.9
生物化学的 酸素要求量	2mg/l以下	0.5未満	0.5	0.7	0.7
浮遊物質 量	2.5mg/l以下	1未満	1未満	1	1未満
大腸菌数	20CFU/ 100ml以下	79	3.5×10^2	3.7×10^2	42

水素イオン濃度：7.0が中性、これより小さいと酸性、大きいとアルカリ性を示します。

溶存酸素量：水中に溶けている酸素量のことです。著しく減少すると生物は窒息します。

生物化学的酸素要求量：水中の微生物により有機物が酸化・分解されるときに消費される酸素の量です。数値が高いほど汚濁度が高いことを示します。

浮遊物質 量：数値が高いと水が濁り、光の透過を妨げて、生物の呼吸に悪影響を及ぼします。

大腸菌数：水中に多く検出される場合、人畜のし尿等が混入している可能性があります。

問 まちづくり整備課 環境管理担当 TEL 内線156・157